

政治史(日本)Ⅰ

科目ナンバリング POL-103
選択 2単位

日暮 吉延

1. 授業の概要(ねらい)

この講義の目的は、戦後日本の政治史についての詳細な検討を通じて、国家の行動、政治家・官僚の意思決定、権力闘争などをリアルに理解することです。

主要な検討対象は戦後日本政治史ですが、現代国家の内政と外交は密接に連動しているので、国際環境、諸外国との関係についても検討します。

2. 授業の到達目標

- 1) 政治史に関する基礎的な知識を有し、政治外交の仕組みを把握できる。
- 2) 「政治」の具体的なあり方、日本社会の特質を理解する。
- 3) 内政と外交がいかに関連しているかを具体的ケースに即して理解する。
- 4) 戦後日本の政治過程の分析を通じて、現在の日本の位置について考える。

3. 成績評価の方法および基準

試験の成績(90%)、授業への貢献度(10%)を評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定の教科書は使用せず、授業中に参考資料を配付します。

参考文献

参考文献は適宜、授業中に紹介します。

5. 準備学修の内容

毎回、自分でとったノートになるべく当日中に読み返すこと。疑問に思った部分があれば、事典等で調べてみる。この簡単な復習をするだけでも学習成果は相当に上がるはずです。

6. その他履修上の注意事項

充実したノートを自分自身で作成することが重要です。その理由は二つ。(1)講義を聴いて「ここは重要だ」と自分が判断した部分を迅速にメモする(ノートをとる)ことは、社会に出てから必要となる「問題のポイントをつかむ力」「判断力」をつける訓練になります。(2)人間は残念ながら物事をどうしても忘れてしまうので、覚えておくためにメモ(覚え書き、備忘録)をとることが必要です。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 対日講和の展開(1) |
| 【第3回】 | 対日講和の展開(2) |
| 【第4回】 | 対日講和の展開(3) |
| 【第5回】 | 対日講和の展開(4) |
| 【第6回】 | 対日講和の展開(5) |
| 【第7回】 | 対日講和の展開(6) |
| 【第8回】 | 対日講和の展開(7) |
| 【第9回】 | 賠償問題(1) |
| 【第10回】 | 賠償問題(2) |
| 【第11回】 | 賠償問題(3) |
| 【第12回】 | 政党と日本再軍備(1) |
| 【第13回】 | 政党と日本再軍備(2) |
| 【第14回】 | 政党と日本再軍備(3) |
| 【第15回】 | まとめ |